



「てつがくカフェ(café philosophique)」とは、わたしたちが通常当たり前だと思っている事柄からいったん距離をとり、「そもそもそれって何なのか」といった遡行的な問いを投げかけ、ゆっくりとお茶を飲みながら、他の参加者との〈対話〉をとおして自分自身の考えを遅くすることの難しさや楽しさを経験するものです。1990年代に、フランスの哲学者マルク・ソーテが、パリのバステュー広場にあるカフェで始めたのがきっかけとされています。

てつがくカフェ 「医療とケアを問い直す」

人の生老病死に深く関わる医療やケアの現場は、〈てつがく〉的な問いに溢れています。てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」では、2016年より、医療やケアに纏わるテーマを、哲学的対話実践形式で問い直す場を拓いています。

〈心〉はどこにあるのでしょうか。
胸の中でしょうか。
それとも頭？

ときに私たちは〈心〉という実態がはっきりしないモノに突き動かされて考え、行動します。そのため失敗したな、と反省してしまうような経験を誰でも一度はするものです。たとえば感情的になってしまい、好意を抱いている相手に喧嘩をふっかけてみたり、辛いことがあってヤケ酒をしてひどい二日酔いになってみたり…。しかしながら、面白いものでそのような振る舞いはむしろ「心ない」行動と呼ばれます。そして、わたしたちの日常は、場合によってはそのような「心ない」行動の連続のようにさえ思えてしまうときもあります。

しかし、医療においては「心ない」行為をして患者さんを不安にさせてしまうことはあってはなりません。〈心〉とは何なのでしょう。いま一度、参加者のみなさんとともに、〈心〉について考えてみたいと思います。ぜひご参加ください。

福井大学医学科4年 田中雄大

テーマ
「〈心〉とは」



- ◆ 実施日:2019年6月2日(日)
- ◆ 時間:13時00分~15時30分
- ◆ 場所:大学連携センターFスクエア
(福井駅東口アオッサ7階)

参加無料、事前申し込み不要、どなたでもご参加頂けます(小さなお子様も一緒に参加予定の方は、予めご連絡ください)。途中退出も可能です。

ファシリテータ:西村高宏(福井大学医学部 医学教育・倫理学分野)
ファシリテーション・グラフィック:近田真美子(福井医療大学 保健医療学部)
主催:てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」
共催:福井大学医学部附属教育支援センター、てつがくカフェ@ふくmedi、
問い合わせ先:ニシムラ(tanishi@u-fukui.ac.jp)